

いいもの成らせるさくらんぼ便り

Vol.5 適正管理で真っ赤なさくらんぼに仕上げよう！

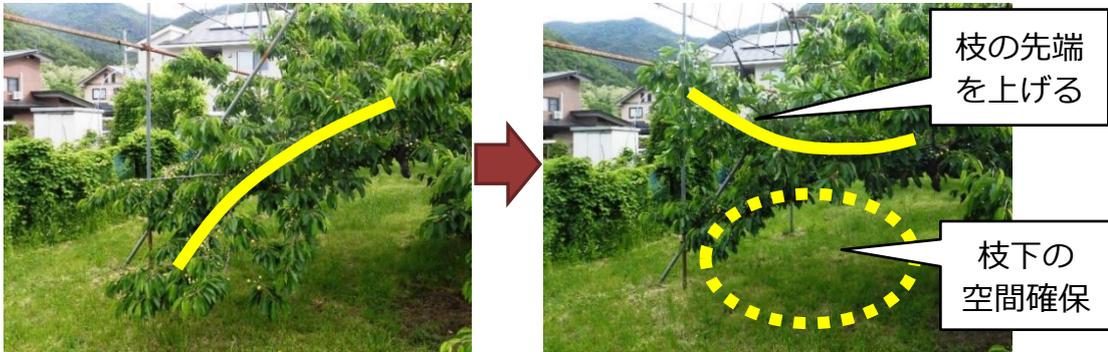
着果は園地や樹によりバラつきあり。
着色管理を遅れず実施し、適期収穫を心がけよう！

1. 着色管理

(1) 枝吊り・誘引 (新梢管理、葉摘み前に実施)

- ◆果実に光が当たるように枝吊りを行う
- ◆下垂した枝は、先端が上向きになるよう吊り上げる

○枝と地面、枝と枝の間隔をあけ、日当たりを確保



(2) 新梢管理

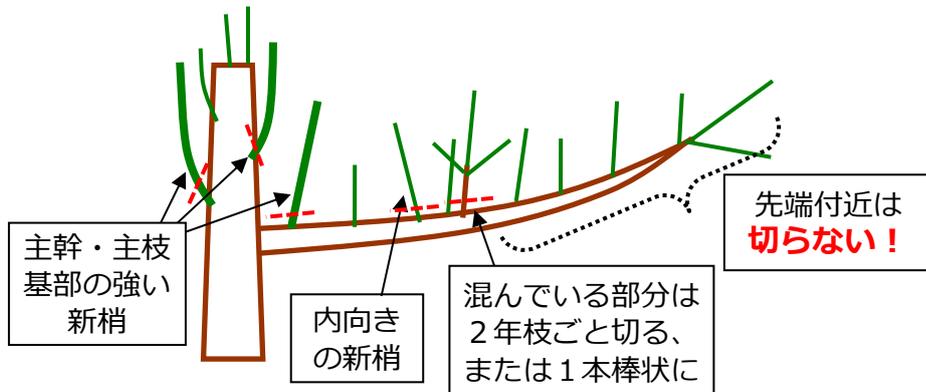
- ◆樹冠内に光が入るように
 - ◆薬剤の通りを良くするために
- 新梢管理で幹回りを明るく！

※主幹周りや主枝基部の新梢が混み合い、

日当たり不良、薬剤が通りにくい場合に実施

○切り過ぎない (適度に残す)・弱った樹では実施しない

○日焼けしそうな主枝背面の新梢はできるだけ残す



(3) 修正摘果

○果実同士が接触した面は、着色不良になりやすい。

○摘果した果実 (黄化期以降) は、オウトウショウジョウバエ発生防止のため、園地に放置せず適切に処分する。

(4) 反射シート設置

- 着色始期頃（収穫 2 週間前頃）から設置する
- 反射資材は園地全体の **50%程度**に設置する



(5) 葉摘みは最小限に！

- 果実を育てるのは葉の力 ⇒ **摘み過ぎは逆効果**
- 大きい葉を、花束状短果枝当たり **4枚以上残す！**

手順

①小さい葉（マメ葉）をとる

②果実に挟まっている葉、果実に覆いかぶさり密着した葉をとる

〈葉摘み前〉

〈マメ葉摘み後〉

〈葉摘み終了〉



2. かん水

※着果量の少ない園地・排水が良くない園地では、裂果に注意を！

- 着色期以降は土壤水分を低く維持、ただし晴天が続いたら、**3～4日おきに1,000～2,000L/10a**かん水する。かん水設備が無い園地では、樹冠下だけでもかん水しましょう。

3. 防除

- 灰星病の重点防除時期**となるため、定期的に薬剤散布を！
- ショウジョウバエ対策**等として、防除間隔をあけず防除する

注意！

さくらんぼ作業中の事故には十分注意！！

- 脚立は**チェーン**を掛ける！**天板には立たない！**
- 無理な姿勢で作業しない！
- 危険な作業は**二人以上**で、携帯電話も**忘れずに！**
- 暑さが続くので、**熱中症にも注意！**